



発行責任者 亀岡市立病院広報委員会

〒621-8585
 京都府亀岡市篠町篠野田1-1
 TEL 0771-25-7313
 FAX 0771-25-7312
<http://www.city.kameoka.kyoto.jp/hospital/>

病院理念

- 急性期医療を中心とした適切かつ良質な医療を提供します。
- 患者さまの権利を尊重し、理解と納得に基づいた患者さま中心の医療を行います。
- 地域医療機関と連携し、地域に求められる救急医療・高度医療に取り組み地域医療の向上に貢献します。
- 公共性と経済性を考慮し、市民の理解と信頼を得られる透明性のある病院運営を行います。

CONTENTS

ごあいさつ	1
新任医師紹介	2
新任医師紹介	3
新任職員紹介 その他新任職員の紹介	4
糖尿病内科 診療体制変更のお知らせ 乳腺外来、乳がん検診のお知らせ	5
トピックス 看護週間イベント開催報告 病院職員紹介	6
外来担当医表 亀岡市立病院特定健診について	7
編集後記	8
広報誌読者からのご意見等募集案内	8

ごあいさつ

新年度を迎え皆様におかれましては新しい職場、新しいメンバーを迎えるなど違いがありますが新たな生活が始まり一層の飛躍のため頑張っておられることと幸いです。

亀岡市立病院におきましてもこの2月から私が院長として就任させていただきましたが、前上田院長が作り上げてこられた道を推し進めつつ、一層の内容の充実に向けて頑張っていきたいと考えております。

当院発足の経緯から、市内唯一の自治体病院として急性期医療を担いつつ親しみやすい地域の病院としての使命を果たし、専門性を有した信頼される医療の提供を行い地域の先生方とタッグを組み地域連携を推し進め亀岡市民の健康維持に寄与することを目標に、行政との太いパイプを武器に地域医療の充実を図っていきたくと考えています。

当病院は比較的小規模な病院ですが、小規模ゆえの密なチーム力で地域に根ざした親しみやすい病院づくりを目指していきたくと考えています。

亀岡市の中心部から少し外れた位置にあるためアクセスに問題があったようですが市街地から馬堀駅までの道路整備に並行してバス路線の充実が計画されているようですので、通院状況の充実も期待されています。また京都府立医大から多くの先生方にお手伝いいただきながら診療科の充実を継続して行い、常勤医師の充実も努力しているところです。

問題点を一つ一つ克服し、市民の皆様喜んでいただける病院目指して職員一同努力してまいります。

当院を利用されておられる皆様におかれましては、一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。



亀岡市立病院 病院長
玉井 和夫

新任医師紹介

整形外科



- ①名 前 …………… 玉井 和夫 先生 (たまい かずお)
- ②年 齢 …………… 63 歳
- ③出 身 …………… 大阪府高槻市
- ④得意とする診療内容 …… 手外科、末梢神経、関節外科
- ⑤趣味など …………… テニス、ゴルフ、マリンスポーツ

⑥皆さまへのメッセージ

平成27年2月より京都府立医科大学吉川学長のご推挙により病院長に着任いたしました。専門は整形外科で特に手の外科、関節外科を中心に手術を行ってきました。本来何にでも手を出したい性格で整形外科全般に幅広く治療を行ってきました。

京都府立医科大学卒業後は京都、滋賀、神戸、大阪の中小病院に勤務したのち、大学に9年間勤務し平成10年より約17年間松下記念病院に勤務し副院長職を辞して亀岡の地に勤務することとなりました。

企業病院・健康保険組合立病院と市立病院とはその成り立ちに違いはありますが地域の先生方や近隣にお住いの患者様にいかに貢献できるかが大切な点となるのは変わりありません。平成20年に出された当院の病院運営委員会の答申にもあるように消化器系疾患を中心にした内科・外科の充実、小児医療の充実、それに私の専門領域でもある整形外科の充実を三本柱とした急性期医療を変わりなく推し進めていきたいと考えております。

基本アウトドア派でテニス、スキー、ゴルフ、マリンスポーツと毎年6月末にはすでに夏真っ盛りの日焼けになっているのが常です。最近は老眼の進行で読書が遠のき気味であるのが辛いところですが一層アウトドアでの活動に拍車をかけているように思えます。

話は仕事に戻りますが、大学では手の外科・末梢神経外科を中心に専門外科を担当して9年間過ごし、その後は人工関節、脊椎外科を加えた慢性疾患に対して整形外科手術的治療を駆使することで患者様に喜んでいただけるべく過ごしてまいりました。最近の15年間は低侵襲手術を旗頭に手術手技の向上に努め、少ない出血、短時間で手術を可能にする内視鏡手術な

ども活用してまいりました。亀岡市立病院においてもそのような手術手技が可能となるよう手術機器の充実を図り、より良い手術が提供できるよう推し進めていきたいと考えております。

私がすべきことは病院職員の全ての皆様が働きやすい環境を整備することであり、結果的に患者様が満足していただくことにつながるものと考えております。単にトップダウンで物事を進めるのではなくボトムアップで物事が改善されるような職場づくりを行っていきたくとも考えております。

一朝一夕に成せるものではありませんが職員の皆様、病院を利用していただいている皆様のご協力の元、推し進めてまいりますのでご協力よろしくお願いたします。



消化器内科

①名 前 …………… 上原 有紀子 先生(うえはら ゆきこ)

②皆さまへのメッセージ

このたび平成27年4月1日付で亀岡市立病院 消化器内科 医長に着任しました上原有紀子です。

幼少時より春の七谷川の桜や夏の亀岡の花火大会、八木の花火大会を楽しみに訪れていたこの地で医療に携われることをうれしく思います。

消化器内科、特に消化器内視鏡を専門に診療させていただくのですが、これらの検査・治療は多少なりと

も苦痛を伴うものとなります。しかし健康に長生きしていただくためには胃カメラや、大腸カメラによる病変の早期発見、早期治療は欠かせないことです。これらの検査を敬遠されず受けていただけるよう、少しでも検査による苦痛を軽減し、安心・安全な医療を提供できるように日々精励恪勤していきたいと思っております。ご指導のほどよろしくお願いいたします。

外 科



①名 前 …………… 多田 浩之 先生(ただ ひろゆき)

②年 齢 …………… 35歳

③出 身 …………… 和歌山県橋本市

④得意とする診療内容 …… 消化器外科

⑤趣味など …………… スポーツ全般、登山

⑥皆さまへのメッセージ

平成27年4月より外科医員に着任しました、多田浩之です。3月までは京都府立医科大学にて大学院生として研究に携わっておりました。

研修医の時に、南丹市のほうで勤務をしていたことがあり、亀岡市にも訪れることが多かったため、今回、亀岡市立病院で勤務させていただくことになり、非常に懐かしく思っています。

亀岡市の印象で一番強いのはやはり、晩秋から早春にかけて亀岡盆地名物の深い霧でしょうか。そして国道沿いの賑やかな街としての一面と、そこから少し離れるだけで田畑が広がり、保津峡をはじめとした豊かな自然に恵まれた一面を持っているという印象です。

僕の趣味の一つに登山、トレッキングがあり、また時間が許せば、豊かな亀岡の自然を満喫したいと思っています。

当院の外科には天池先生、田中先生という経験豊富な先生方がいらっしゃいます。両先生のもとで日々外

科医として研鑽を積むとともに、院内各科および近隣の診療所、病院などの医療施設との連携も積極的に行いながら、患者様が納得し、安心できる医療を提供できますように日々努力して参りますので、よろしくお願い申し上げます。



看護部



- ①名前 …………… 長尾 泰弘 技士 (ながお やすひろ)
- ②年齢 …………… 40歳
- ③出身 …………… 熊本県
- ④得意とする診療内容 …… 医療機器管理
- ⑤趣味など …………… フットサル
(参加させてもらえるチームを探しています)

⑥皆さまへのメッセージ

平成27年4月より勤務しております、臨床工学技士の長尾泰弘と申します。

臨床での経験は15年ほどで、これまでに透析室や手術室、医療機器管理など多岐にわたって業務に携わってきました。

亀岡市立病院では初めての職種ということもあり、やりがいを感じると同時に、とてもプレッシャーを感じております。

まだまだ手探りの状態ですが、少しでもお役に立てるよう頑張っていきたいと思っております。

亀岡に移り住んでから、5年になります。出身は熊本県で、連休などには一家そろって車で帰省しています。片道730kmの距離は、夜9時に出発して翌朝9時に熊本到着と、12時間のロングドライブです。とても疲れますが、両親も、3人の子供らも喜ぶますので、妻と交代で頑張っています。

帰りは明け方に亀岡へ着きますので、亀岡特有の霧が深く、その霧の間から見える街並みがとても幻想的な気分にさせてくれます。私が亀岡を気に入る

ところの一つです。

亀岡出身の方に話を聞くと、以前に比べてだいぶ霧は少なくなったそうですね。亀岡市も少しずつ変わってるんだと感じます。

この先、亀岡市は、そして自分自身はどんな風変わっていくのだろうか。そんなことを思いつつ、暮らしています。



その他新任職員

先に紹介した医師、臨床工学技士の他にも、看護師、事務職員などを新たな仲間として迎えました。

今回採用のメンバーは、他の医療機関で十分に経験を積んだ者、病院で働くことが初めての者など様々ではありますが、一日も早く各々の仕事に慣れ、皆さまのお役に立てるよう努めて参りますので、今後ともよろしくお願ひします。



糖尿病内科 診療体制変更のお知らせ

平成27年3月末をもちまして、野口糖尿病内科医長が退職されたことに伴いまして診療体制が変更となりましたのでお知らせします。

現在は、非常勤医師2名を新たにお迎えし、新体制の下、引き続き糖尿病内科の外来診療を行っておりますので、今後とも宜しくお願いします。

担当医師

橋本 善隆 医師

4月より水曜日の午前中の糖尿病外来を担当している橋本です。糖尿病は様々な疾患と密接に関係があります。患者数が増加している中ですぐに対応できないこともあります。糖尿病患者でお困りの際は紹介いただければ可能な範囲で対応いたします。

大坂 貴史 医師

こんにちは。京都府立医科大学から派遣されております糖尿病内科の大坂貴史と申します。糖尿病という病気は自覚症状のない、でもほっておくと様々な合併症が出てしまう病気です。合併症が出る前に治療を進めていきましょう！皆様のお役に立てる様に頑張りますので、宜しくお願いします。

亀岡市乳癌検診開始のお知らせと乳腺外来変更のお知らせ

癌にもいろんな種類がありますが、女性の癌で最も罹患率が高いのが乳癌です。その割合ですが日本女性の14人に1人ほどが乳癌を経験することになります。しかし乳癌で亡くなる人は罹った人の22%ほどで癌の中では比較的予後の良い癌です。また乳癌の特徴は比較的若年に多いことで40歳代後半に罹患率のピークがあり、そのため40歳から65歳までの女性癌死亡率の1位は乳癌です。(それ以後は大腸癌が1位)

若い患者様がお子さんを残して亡くなられるのを見るのは大変つらいことです。癌になっても治るためにはやはり早期発見が最も有効な手段と考えられます。欧米では乳癌検診受診率は70%を超えています。日本では約27%ほどです。亀岡市市民検診の受診率は年々改善していますが、まだ約24%ほどです。今年も亀岡市乳癌検診が6月から始まります。(12月末日まで受け付け)

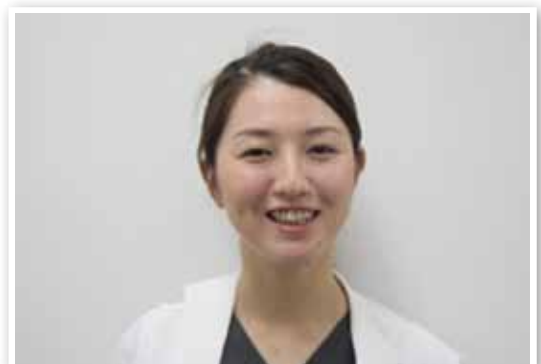
当院でも受けていただくことができますので希望される方は病院まで電話でお申し込みください。

またしこりなどの症状がすでにある方や検診で要精査となった方のための乳腺専門外来を月、火、水曜日に行っております。

今年の4月から火曜日の担当が変わりました。西田医師が担当することになりますので宜しくお願い申し上げます。また9月からはもう一人増えて外科部長の田中と併せて3人体制で行う予定です。原則として初診日にほとんどの検査を即日行い、検査説明も行う事にしている都合上、予約制の外来とさせていただきます。電話で予約できますのでお気軽にご相談ください。

診療部長兼外科部長 田中 宏樹

担当医師



西田 真衣子 医師

看護週間イベント

21世紀の高齢化社会を支えていくためには、看護の心、ケアの心、助け合いの心を私たち一人ひとりが分かち合うことが必要です。こうした心を老若男女を問わず誰もが育むきっかけとなるよう、「看護の日」が1990年に制定されました。

5月12日はフローレンス・ナイチンゲールの誕生日であり、その日を含む1週間を「看護週間」と位置づけられており、当院でも第5回看護週間イベントを5月16日に開催しました。

「看護の心をみんなの心に」～いきいき延ばそう！健康年齢～をテーマとしイベントに取り組みました。

BMI・血圧・骨密度・血管年齢測定では、ご自身の数値を知ることで健康について関心を持つきっかけとなり、気軽に看護相談が出来る測定コーナーとなりました。いきいき体操では、職員も一緒になって認知症予防の手足の体操やしりとりゲームを行い、ユーモアある話の間に笑い声も沢山聞かれる楽しいコーナーとなりました。手洗い体験コーナーでは手洗い後、ブラックライトで洗い残しをチェックしましたが、意外に洗い残しの多いことがわかり、改めて家庭での効果的な手洗いが大切との感想が聞かれました。糖尿病委員会からは、「インスタントカレー」に含まれる、塩分量やカロリーを表示した糖尿病食事マップと清涼飲料水に含まれる砂糖の展示を行いました。日頃摂取している食事のカロリーや糖分が意外に多いことについて、興味深く見ていらっしゃいました。

今年も子供たちが「看護週間」をテーマに描いてくれたポスターを展示しました。どの絵も力強く、微笑ましく、絵を見ている者の気持ちを温かくし、そして

沢山のパワーを貰えるような作品でした。

土曜日の午後という時間帯にも関わらず、約70名の方にご参加頂きました。高齢化社会を迎える中、市民の皆さんの健康に対する関心の深さを知り、そしてサブテーマにもあるように、健康でいきいき暮らしていくことを私達、誰しもが願っています。そのために、これからもいろいろな形でお役に立てればと考えております。

同日開催の市民健康教室も盛況のうちに終わり、多くの方にご参加いただきました。ありがとうございました。



病院職員紹介



医事課主査
中川 正己

平成26年1月から勤務させていただいています。以前は京都市内の民間病院で働いていました。公立病院での勤務は初めてなので、色々と戸惑うこともあります。何事も経験して頑張っていきたいと思っています。

趣味はスポーツをしたり観戦することです。息子と野球とかしたいのですが、まだ小さいので実現できていません。

運動不足もあり、20年前と比較して10kg以上増加してしまった体重を元に

戻すべく、5歳になった息子と近所を走ったり、散歩をしたり運動を心掛けています。

先日、近所にある実家へ散歩を兼ねて子供と行った時、家の軒下に30cmを超えるスズメバチの巣を発見しました。幸い辺りに蜂の姿は無く安心しましたが、これから暑くなり蜂の活動も活発になってきます。身近な所に潜んでいる可能性もあるので注意したいものです。



外 来 担 当 医 表

平成 27 年 5 月

診 療 科	月	火	水	木	金
消化器内科	うえ はら ゆきこ 上 原 有紀子	たけ たに ひる よし 竹 谷 祐 栄	おか だ よし ひさ 岡 田 頼 久	—————	岡 田 頼 久
循環器内科	にし まさ ひろ 西 真 宏	やま なか りょう えつ 山 中 亮 悦	もと やま しんいちろう 本 山 晋 一 郎	ふく い けん すけ 福 居 顕 介	わ だ なお とし 和 田 直 敏
一 般 内 科	き せ ら たい こう 木 村 兌 弘	けい ち なつ や 計 良 夏 哉 <small>志 村(予約のみ)</small>	せ ら かみ まさ お 村 上 雅 朗	とく い まさ ぶみ 得 居 将 文	ち ねん よし あき 知 念 良 顕
神 経 内 科	—————	—————	—————	おお みち たく ま 大 道 卓 摩	—————
糖 尿 病 内 科	—————	—————	はし もと よし たか 橋 本 善 隆	—————	おお さか たか ぶみ 大 坂 貴 史
ペースメーカー 外 来	—————	—————	—————	—————	福 居 顕 介 (偶数月の第2週)
皮 膚 科	—————	—————	なか い のり あき 中 井 章 淳	—————	あさ い じゅん 浅 井 純
泌 尿 器 科	—————	担 当 医	—————	—————	—————
泌 尿 器 科 午後(2時~4時)	—————	—————	—————	ぬく い まさ のり 温 井 雅 紀 (第2・4週)	—————
外 科 1 診	あま いけ ひさし 天 池 寿	担 当 医	た なか ひろ き 田 中 宏 樹	天 池 寿	た だ ひろ ゆき 多 田 浩 之
外 科 2 診	—————	にし だ まい こ 西 田 真 衣 子 (乳 腺)	—————	ゆたか ようじろう 豊 洋 次 郎 (呼 吸 器)	—————
外 科 午 後(予 約)	田 中 宏 樹 (乳 腺)	西 田 真 衣 子 (乳 腺)	田 中 宏 樹 (乳 腺)	—————	—————
麻 醉 科 (A°インクリニック)	はし もと とち こ 橋 本 朋 子	—————	—————	—————	橋 本 朋 子
眼 科	なが た けん じ 永 田 健 児	担 当 医	—————	担 当 医	—————
整 形 外 科 1 診	さか べ とち や 坂 部 智 哉	たま い かず お 玉 井 和 夫 (予 約 の み)	坂 部 智 哉	つじ よし ろう 辻 吉 郎	辻 吉 郎
整 形 外 科 2 診	いち まる こう ぞう 市 丸 宏 三	市 丸 宏 三	市 丸 宏 三	—————	担 当 医
整 形 外 科 午 後(予 約)	坂 部 智 哉 (スポ-ズ・肩関節)	—————	—————	—————	—————
小 児 科	てら まち しん じ 寺 町 紳 二	寺 町 紳 二	寺 町 紳 二	寺 町 紳 二	寺 町 紳 二
小 児 科 午 後(予 約)	寺 町 紳 二 (循 環 器)	寺 町 紳 二 (予 防 接 種)	寺 町 紳 二 (予 約 外 来)	寺 町 紳 二 (循 環 器・アレルギ-)	寺 町 紳 二 (予 約 外 来)

亀岡市立病院 特定健診について

本来なら亀岡市立病院も地域の先生方と一緒に特定健診実施医療機関としてお役に立つところではありますが、当院の重要な役割として検診(健診)実施医療機関から要精査となった方への診療に専念する必要性が高いことから特定健診自体は行わないこととさせていただきます。

編集後記

当院広報誌を読んでいただきありがとうございます。

5月に入り、昼夜の寒暖差が大きく、夏日の日もあり体調を崩しやすい時期ですので体調管理に十分お気をつけ下さい。

さて、今号で紹介させていただきましたが、この春、医師をはじめ新しいスタッフを迎えることができました。昨年度まで当院に在籍していなかった臨床工学技士も迎えることができ、より安全な医療を提供できるのではないかと考えています。

スタッフ一同、力をあわせ市民の皆様から信頼される病院を目指してまいりますので今後とも宜しくお願い致します。

広報委員会 委員 木澤 明宣 (臨床検査技師)

広報誌読者からのご意見等募集案内

本誌『桔梗』の表紙や挿絵に掲載させて頂く写真やイラストを募集させていただきます。テーマの規定はありません。みなさまより多数のご応募を心よりお待ちしております。採用、不採用に関わらず、写真やイラスト、画像データ等のご返却できませんのであらかじめご了承下さい。詳細につきましては、下記担当者までお問い合わせをお願い申し上げます。

【担当者】亀岡市立病院 病院総務課 谷 (平日、午前10時から午後3時まで)



JR馬堀駅から徒歩約5分/京都縦貫道篠インターから車で約5分/駐車(輪)場有

亀岡市立病院

〒621-8585 京都府亀岡市篠町篠野田1-1
TEL 0771-25-7313 FAX 0771-25-7312
<http://www.city.kameoka.kyoto.jp/hospital/access/index.html>

「がんばろう日本」～亀岡市は東日本の復興を支援します～